

海外安全対策情報 2025 年 8 月～10 月

1 社会・治安情勢（報道内容・コントロールリスクス社提供資料ほか当館調べ）

（1）テロ等の情勢

バローチ分離主義勢力は、本年 3 月からバロチスタン州及びシンド州内において、10 月末時点で計 8 回以上クエッタ発着の急行列車に対して簡易即席爆発装置（IED）等を使用して攻撃しており、シンド州内での攻撃も発生している。

大規模なテロとしては、9 月 2 日、バロチスタン州クエッタ市のシャーワーニー・スタジアム付近において、バロチスタン民族党の故党首追悼式典の後、主催者の車列を狙い自爆テロが発生し 13 人以上が死亡、35 人以上が負傷した。IS 系が犯行声明を発出。また、同月 30 日、同市の国境警備隊（FC）本部付近の繁華街において、自爆テロが発生し、10 人以上が死亡、32 人以上が負傷した。TTP が犯行声明を発出。

8 月 26 日、バローチ分離主義勢力にとって指導者（ナワーブ・アクバル・カーン・ブグティ。2006 年死亡）の命日にあたり、バロチスタン解放戦線（BLF）がメッセージを出し、その中でバロチスタン州の鉱物資源採掘に関して、パキスタンと新たに協定を締結した米国を非難した。（内容：ワシントンの決定は重大な不正であり、民主主義と人権国家という主張と矛盾している。米国の関与は、CPEC の締結合意と並ぶものであるとした。パキスタンと協力して我々の資源を略奪する者にとって、中国のように失敗になるであろう。（インド The Tribune 紙）

10 月 9 日、パキスタン軍によるカブール空爆に対し、アフガニスタンのタリバーン暫定政権は 11 日に報復攻撃し、その後も衝突が続いた。19 日にはカタールでの協議で一時停戦に合意したものの、その後トルコでの協議では、交渉は一時決裂したが、31 日に合意に達し停戦は延長された。（10 月末時点）

（2）主なテロ事件

【8 月】

1 日、バロチスタン州パンジグル郡の軍施設が襲撃され、8 人死亡、10 人が負傷した。

4 日、バロチスタン州クエッタ市において、発電所が襲撃され従業員が人質に取られ、施設内部が破壊された。負傷者はなし。

7 日、バロチスタン州シビ郡において、ジャーファル急行が通過後、即席爆発装置（IED）が爆発した。負傷者なし。バロチスタン解放軍（BLA）が犯行声明を発出。

9 日、カラチ市カユマバードにおいて、警察検問所付近で銃撃事件が発生し、市民 1 人死亡、警官含む市民 3 人が負傷した。

10 日、バロチスタン州マストゥング郡において、ジャーファル急行が IED による攻撃を受け、6 両脱線したが負傷者なし。BLA が犯行声明を発出。

25 日、バロチスタン州マストゥング郡において、武装勢力が検問所を設置するなどして、交通を遮断した。

27 日、カラチ市シンディゴートにおいて、警察官がバイクに乗車中、別のバイクに乗車した 2 人組に銃撃され死亡した。

28 日、バロチスタン州クエッタ市の他、パンジグル郡、カラーン郡等 8 か所で治安部隊員の車列等

が襲撃され8人以上が死亡した。

【9月】

10日、バロチスタン州ワシユク郡において、車列が襲撃され国境警備隊員4人が死亡した。

11日、カラチ市ウスマン・カース・バゴットにおいて、警察官が自宅から警察署へ出勤途中、バイクに2人乗車の者から銃撃され死亡した。

17日、カラチ市グルシャネ・マイヤールにおいて、勤務中の警察官が勤務中、車両に乗車した4人組から銃撃され死亡した。

23日、バロチスタン州マストウング郡において、ジャーファル急行がIEDによる攻撃を受け、13人が負傷した。BLAが犯行声明を発出。

(3) カラチ市内の一般犯罪情勢

ア 傾向

警察によると、カラチ市内において、本年7月中国人家屋に対して侵入盗を行った容疑者を逮捕した。容疑者夫婦は2024年、同市内クリフトン地区に住む中国人ビジネスマンの家屋から100万円相当以上の現金及び貴金属を盗み出していた。容疑者の妻は複数の家で家政婦として働き犯行を繰り返していたという。

イ 主な一般犯罪事件等

【8月】

4日、グリストターネ・ジョーハル地区において、武装した複数人が店舗外にいた人を銃撃し、2人が死亡、3人が負傷した。

23日、カラチ市DHA地内において、シンド州警察高官宅に強盗が押し入り、合計2,000万ルピー以上相当の現金、貴金属を強取した。

【9月】

14日、カラチ市サヒル警察署管内(DHA7,8を管轄)において、車両に乗車した3人組が警察官に銃を突きつけ拉致した。

2 当面の警戒を要する主要行事

カーイデ・アーザム(建国の父ムハンマド・アリー・ジンナー)生誕祭(12月25日予定)

3 統計

※テロ件数等は、在イスラマバード民間シンクタンク「パキスタン平和研究所」資料。

※一般犯罪統計は、CPLC(Citizens Police Liaison Committee)資料。

(1) 2025年のテロ発生状況(10月末)

○シンド州(カラチ市を除く)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
発生件数	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1			5
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
負傷者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7			7

○カラチ市

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
発生件数	1	1	5	0	1	1	0	2	2	2			15
死者数	0	1	3	0	1	1	0	2	2	3			13
負傷者数	1	0	6	0	0	0	0	3	0	0			10

○バロチスタン州

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
発生件数	22	25	36	19	15	23	28	18	21	12			219
死者数	60	86	109	50	20	19	25	13	69	11			462
負傷者数	64	45	130	27	22	33	55	18	109	14			517

(2) カラチ市内の主な一般犯罪の発生状況

○2022年から2024年の犯罪状況

	2022	2023	2024
強盗(自動車)	161	264	283
窃盗(自動車)	2,105	2,046	1,802
強盗(バイク)	4,970	7,299	8,204
窃盗(バイク)	51,901	48,229	41,858
強盗(携帯電話)	28,561	28,085	19,639
誘拐	13	17	20
殺人	592	647	543

○2025年の発生状況(9月末)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
強盗(自動車)	31	36	21	19	31	23	22	31	27				241
窃盗(自動車)	151	159	139	131	106	115	197	204	172				1,374
強盗(バイク)	617	549	574	569	702	585	502	507	517				5,122
窃盗(バイク)	3,413	3,224	3,605	3,176	3,292	3,298	3,357	3,332	3,181				29,878
強盗(携帯電話)	1,585	1,402	1,312	1,364	1,489	1,436	1,603	1,480	1,542				13,213
誘拐	3	1	1	3	0	2	1	1	0				12
殺人	54	36	42	53	66	33	52	54	51				441

○地区別の発生状況（9月末）

強盗(自動車)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	133	163	129
MALIR(EAST)	42	40	32
KORANGI(EAST)	12	9	14
WEST(WEST)	37	21	13
CENTRAL(WEST)	24	22	24
SOUTH(SOUTH)	9	15	23
KEAMARI(SOUTH)	11	13	6
合計	268	283	241

窃盗(自動車)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	688	647	490
MALIR(EAST)	112	124	62
KORANGI(EAST)	207	204	115
WEST(WEST)	69	53	54
CENTRAL(WEST)	672	473	451
SOUTH(SOUTH)	268	267	232
KEAMARI(SOUTH)	44	34	30
合計	2,060	1,802	1,434

強盗(バイク)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	2,491	2,777	1,817
MALIR(EAST)	651	962	602
KORANGI(EAST)	1,057	1,071	740
WEST(WEST)	1,123	1,307	730
CENTRAL(WEST)	1,635	1,477	658
SOUTH(SOUTH)	152	225	242
KEAMARI(SOUTH)	279	385	333
合計	7,388	8,204	5,122

窃盗(バイク)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	13,137	10,168	7,637
MALIR(EAST)	2,871	2,959	2,285
KORANGI(EAST)	11,761	9,102	6,286
WEST(WEST)	5,286	4,036	2,613
CENTRAL(WEST)	11,676	7,813	4,241
SOUTH(SOUTH)	4,924	5,345	4,934
KEAMARI(SOUTH)	2,840	2,434	1,882
合計	52,495	41,857	29,878

強盗(携帯電話)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	8,131	5,931	4,268
MALIR(EAST)	1,450	1,046	668
KORANGI(EAST)	4,316	3,006	2,061
WEST(WEST)	2,424	1,483	1,092
CENTRAL(WEST)	7,621	4,516	2,648
SOUTH(SOUTH)	2,768	2,493	1,788
KEAMARI(SOUTH)	1,342	1,153	688
合計	28,052	19,628	13,213

殺人	2023	2024	2025
EAST(EAST)	126	130	78
MALIR(EAST)	101	81	85
KORANGI(EAST)	68	57	51
WEST(WEST)	118	101	87
CENTRAL(WEST)	84	62	42
SOUTH(SOUTH)	63	56	40
KEAMARI(SOUTH)	89	67	58
合計	649	554	441

誘拐(身代金目的)	2023	2024	2025
EAST(EAST)	6	6	3
MALIR(EAST)	4	5	2
KORANGI(EAST)	0	0	1
WEST(WEST)	1	3	1
CENTRAL(WEST)	1	6	3
SOUTH(SOUTH)	4	2	1
KEAMARI(SOUTH)	1	5	1
合計	17	27	12

5 在留邦人の安全に関わる対策等

(1) 最近の治安情勢を受けた注意点

- ・ 象徴的なターゲットへの注意
中国権益や空港等ソフトターゲット、政府重要施設は十分な警戒を要する。
- ・ 中国権益以外への攻撃の可能性

中国権益に対する警備強化により、治安リソースが割かれる傾向にある。

- ・ ローンオフエンダー型テロ事件への懸念
テロ組織の発信力が強まれば、それだけ感化される者も増える。
- ・ 通信制限に対する備え

(2) テロ・一般犯罪対策

- ・ 移動時は警護員を帯同させ、自宅においても警備員の配置を検討する。
- ・ 企業・個人等の情報や行動予定の共有は必要最低限に留める。
- ・ 出退勤においては複数ルートを選定するとともに、出退勤時間を変えることが望ましい。
- ・ 防弾車が準備できれば安全性は増す。
- ・ 治安情勢の変化に伴い、治安当局への応援要請も検討する。
- ・ テロの標的となっている場所（政府・軍・治安機関施設、宗教施設、中国関連施設、米国関連施設）への立ち寄りや集会・抗議活動等には近づかない。

(3) 銃器使用による強盗（ガンポイント）対策

- ・ 警護員を帯同させる。
- ・ 銀行・両替商の利用者が標的とされやすいため、現地職員に業務を委託するなど被害に遭わない工夫をする。
- ・ 犯人はバイクや徒歩で近づいてくるほか、標的選定のために見回るケースもあることから、同じ場所に長時間滞在することを避ける。
- ・ 渋滞を避ける。

(4) デモ・抗議集会に関する情報収集

- ・ 渋滞に巻き込まれ強盗等の被害遭遇を避けるため、ドライバー等を活用し、情報収集を行う。
- ・ 群衆は些細なことで暴徒化する可能性があるほか、当該デモ等が犯罪組織やテロ組織の攻撃対象になる可能性もあるため、決して近づかない。

(5) 安全に対する自己点検

- ・ 常に安全に対する問題意識を持ち、疑問点を確認する。
- ・ 安全対策に正解はなく、治安情勢に沿った対策を講じる。
- ・ 安全対策について、当館警備班に相談する。